



ゆきぐに大和病院だより

理念

私たちは、自然のうるおいの中で、
人それぞれの希望に満ちたくらしを支え、地域医療を推進します。

2013

1月号

謹賀新年

新病院開院に向けて



南魚沼市
病院事業管理者
ゆきぐに大和病院
院長 宮永 和夫

あけましておめでとございます。
市民の皆さまの健康と日常生活の安全・安心を医療面から支えるため、今年も職員一同精一杯取り組み覚悟です。私たちの市立病院へのご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

さて、皆さんもすでにご存じと思いますが、私たち市立病院の旧駐車場の場所には、県立の魚沼基幹病院（仮称）の建設が始まっています。一方、私たち市立ゆきぐに大和病院も魚沼地域の医療再編を受け、現在の病院を2つに分けて、市立病院群として新築開院することをめざしております。

2つの病院の一つは、まだ新病院の正式な名前は決まっておりますが、現在の県立六日町病院の駐車場敷地を中心とした場所に、今年秋から建設を始める予定になっております。そして、現在のゆきぐに大和病院で行われている診療業務や付帯業務を

務をほぼ同じように引き継ぎたいと考えております。

もう1つの新病院は、JR浦佐駅に近い場所に建設する予定で準備を進めておりますが、特定した場所はまだまだお伝えできない状況にあります。ただ、名前は現在の「ゆきぐに大和病院」と同じにしたいと思っております。なお、六日町病院の駐車場跡地に新築する病院より建設開始時期は多少遅れると思いますが、開院については、ほぼ同時期にしたいと考えております。診療業務も病床数が減少するために、今までと同じ形態は取れませんが、旧大和町地域の説明会（2月以降4か所での説明会を考えております）などのご意見を参考にさせていただきます。さらに進化・深化した地域医療に取り組む病院に特化させたいと考えております。

平成27年春の県立六日町病院と県立小出病院の閉院により、魚沼地域の医療体制に不安をもたれる市民の方々がおられるかもしれません。しかし、魚沼基幹病院（仮称）、現在の県立六日町病院、現在の県立小出病院とは連携を密にとりつつ、漸次業務の移行を進める予定ですので、ご安心いただきたいと思います。

なお、年末に当院の整形外科の常勤医師が急病となり、整形外科の外

来と入院の診療制限を余儀なくされました。冬は整形外科的な疾患が増加する時期でもあります。本人の早期復帰を願うとともに、できる限り市民の皆さまにご理解いただき、診療での混乱が起きないようにご協力いただければ幸いです。

年末年始休診のお知らせ

12月29日(土)から1月3日(木)まで、一般外来の診療を休ませていただきます。

この期間は日当直の医師、看護師、事務員等での対応となりますので、緊急の場合のみの診察となります。

また、専門外の医師の診察となったり、診察ができない場合もあります。

必ず、事前に電話で診察の可否を確認してください。



診療日のご案内

入院患者さまとの面会は、
月曜日～金曜日：15:00～20:00、
土曜日・日曜日・休日：13:00～20:00
となります。(時間厳守)

説明 診療科に対する曜日欄の記載は、○＝診療日、■＝休診となります。
○と(休診有)の記載がある場合は、当月に臨時休診があります。備考欄で、休診日をご確認ください。
また、曜日欄に「日にち」の記載がある場合は、毎週ではなく診療日限定となります。

整形外科	月	火	水	木	金	土	受付	診療	備考・休診日	
一般外来	予約外	○	○	○	○	○ (休診有)	新患のみ	8:00～10:00	火曜⑨9:00～ 月曜⑨10:20～	休診＝18日(金)の「新患」
	予約	○	○	○	○	—	—	予約方法は、P3上「予約または予約変更について」をご参照ください		
専門外来	脊椎	—	15日・29日	—	—	—	—	予約制	10:20～	
	上肢	—	—	—	○	—	—	予約方法は、P3上「予約または予約変更について」をご参照ください	9:00～	
	足	—	—	—	—	11日・25日	—			
形成外科	月	火	水	木	金	土	受付	診療	備考・休診日	
	—	—	—	—	○	—	13:00～14:30	13:30～		

医師別の診療予定が必要な方は、医師(名字)・診療日(数字)が記載された一覧を、病院・医療連携室に用意してあります。

子どもの予防接種日程

予防接種	接種日	受付時間	接種時間
3種混合	1月4日(金) 2月1日(金)	13:20～ 14:00	13:30～
ポリオ	1月4日(金) 2月1日(金)		
4種混合	1月11日(金)		
麻しん・風しん混合 1期 2期 3期 4期	1月11日(金)		
日本脳炎	1月18日(金)		
BCG	1月25日(金)		

※予約が必要です。予約・お問い合わせは、医事課まで。

※小児のヒブ、肺炎球菌、中学生の子宮頸がん予防接種は上記日程全般で行います。

※4種混合予防接種の予約については、全国的にワクチンの供給量不足が生じており、ワクチンの確保ができない場合、4種混合の接種はお断りすることがあります。その場合、3種混合と不活化ポリオの接種をご案内させていただきますので、ご了承ください。

病院休診日のお知らせ

12月29日(土)～1月3日(木)年末年始休診

14日(月)祝日・成人の日

21日(月)第3月曜日

※各診療科の休診日は、「診療科・診療日の案内」の最右「備考・休診日」欄でご確認ください。

入院病棟編

病院の「なぜ?」皆さんの疑問にお答えします
「入院患者さまとの面会時間」について

㊤ 入院している知人のお見舞いに、はるばる遠方から訪ねてきたのですが、面会時間が定められているという理由で、すぐには面会できず待たされました。不親切ではないでしょうか。

㊦ 入院中は、検査・治療の計画的な診療および患者さまに充分な安静と休息をおとりいただくために、面会時間を設けています。

平日・午後3時～午後8時
土・日・祝日・午後1時～午後8時

ご面会の方は必ず、ナースステーションで面会票のご記入をお願いいたします。ご記入後は「面会票入れ」の箱にお入れください。

㊧ 診療計画を円滑に行うため

入院中は治療へ向けて、患者さまに応じた診療を第一に考えております。そのため、円滑な診療が行えるよう、面会できる時間を限定させていただきます。

㊨ 患者さまの養生のため

安静も大切な治療の一つです。特に複数人の病室では、他の入院患者さまに迷惑がかららないよう配慮していただかなければなりません。

親しい方のお見舞いは、患者さまの励みにもなりますので、大切な安静・休養の時間が損なわれないように面会をお願いいたします。

㊩ 防犯上の理由

常時入院病棟内に一般の方が自由に出入りできるということは、防犯上好ましくありません。そのため、面会は決められた面会時間内に、またナースステーションで面会票の記入にご協力いただいております。

病院の防犯対策としての対応ということをご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

㊪ その他

手術前や、身体の抵抗力が低下した患者さまへの感染を避けるため、風や体調の悪い方の面会をご遠慮いただいております。

特にお子さまの面会は、保育園や学校などで集団感染していたり、潜伏期で症状がない状態であったり、感染している確率が高いこと、また逆に病院で感染をしないようにという理由で、ご遠慮いただいております。



平成25年1月

診療科

予約または予約変更について

受付日時：予約または予約変更をしたい診療科が診療している日の、
月～金曜日の午後2時～4時（歯科は歯科の受付欄参照）

方 法：電話にて受け付けます。

※予約変更は、「やむを得ない」場合に限ります。

ゆきぐに大和病院 代表

TEL 025-777-2111
FAX 025-777-3853

内 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備 考・休 診 日	
一般外来	○	○	○	○	○	○	8:00～ 11:00	9:00～		
内分泌糖尿病	○	○	○	○	○	○				
循環器科	○	備考参照	○	○	—	12日・26日		10:15～		火曜日=予約制
腎臓科	—	—	—	—	4日・25日	日		9:00～		初診は予約が必要
呼吸器科	—	—	—	○	—	○				
神経内科	○	○	—	○	○	—		13:30～		
睡眠時無呼吸	—	—	—	○	—	—		予約制 (3ページ上の記事参照)		

和漢診療科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備 考・休 診 日
午 前	○	○	○	○	○	○	8:00～11:00	9:00～	
午 後	○ (休診有)	○	○	○ (休診有)	○	—	13:00～14:30	13:30～	休診=7日(月)、10日(木) 24日(木)

精 神 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備 考・休 診 日
一般外来	—	○	—	○	○	○	予約制 (3ページ上の記事参照)	9:00～	
脳ドック科	(休止中)	—	—	—	—	—		10:00～	
メモリークリニック	○	—	○	—	○	—	予約制	月・9:30～ 金13:30～	
高次脳機能障害科	28日	—	—	—	—	—		13:30～	

外 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備 考・休 診 日
胃腸科 肛門科	○	○	○	○	○	○	8:00～11:00	9:00～ 第1・3 10:00～	

小 児 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備 考・休 診 日
一般外来	午 前	○	—	○	—	○	8:00～11:00	9:00～	
	午 後	—	—	—	—	○	予約制 (3ページ上の記事参照)	14:00～	
内分泌糖尿病	—	—	—	24日	—	—	14:00～16:30		

婦 人 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備 考・休 診 日
一般受付	—	—	—	—	○	○	8:00～11:00	9:15～	予約優先
予約制	—	○	○	○	—	—	予約制 (3ページ上の記事参照)	9:15～ 10:30～	

眼 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備 考・休 診 日
一般受付	—	—	—	—	—	○	8:00～11:00	9:00～	予約優先
予約制	—	8日・22日	○	○	—	—	予約制 (3ページ上の記事参照)	10:15～	

耳鼻咽喉科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備 考・休 診 日
午 前	—	—	—	—	—	○	8:00～11:00	9:00～	
	—	○	—	○	—	—	13:00～15:00	14:00～	
皮膚科	—	○	○	—	○	—	8:00～11:00	9:00～	
泌尿器科	—	—	—	○	—	—			

歯 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備 考・休 診 日
歯科・小児歯科	○	○	○	○	○	○	予約制 〔電話予約可 10:00～12:30 13:30～17:15〕	9:00～	
矯正科	—	—	9日・16日・ 23日	—	—	—			
歯科口腔外科	○	○	—	○	○	○			

当面の課題、 最大の課題



事務部長
米山 恒夫

あけましておめでどうございませう。昨年、5月に魚沼基幹病院（仮称）が着工され、魚沼地方の医療もいよいよ新時代を迎えることとなりました。一方で、医療再編に向けた動きも本格的となり、ゆきぐに大和病院のスタッフが、現六日町病院の位置に新築する新六日町病院（仮称）と、規模を小さくして新築する新大和病院（仮称）の、二つの病院を運営することとなりました。

そこで、今回は、新しい病院の運営にあたり、どんな課題があるのか、どのような準備が必要なのか、お知らせしたいと思います。

病院を運営するには、まず建物や医療機器を揃え、医療スタッフを確保する必要があります。同時に、どういった病院とするのか、医療の方針を定めなければなりません。医師や医療スタッフは、医療の方針によって集まったり離れていってしまったりするものです。したがって、医療の方針を定めることが一番重要であると考えています。

医療の方針をめぐる、当院では、

平成21年10月に「南魚沼市立病院群のあり方検討委員会」を組織し、3年半にわたり議論を重ねてまいりました。その結果を「南魚沼市立病院群のあり方」としてまとめ、それに基づき整備方針を策定しています。

その概要は、新六日町病院（仮称）は、現在当院が行っている内科、外科、整形外科を主体とした2次医療に対応する総合的な病院をめざすこととしています。一方、新大和病院（仮称）は内科を主体とした入院機能を有し、専門的な外来、地域医療の推進に特化した病院にしたいと考えています。

現在、そういう方針に沿って、病院建設のための設計に取り掛かったところですが、これから、医療機器の選定や医療システムの導入を、運営計画、財政計画と併せて急ピッチで検討して行くこととなりますが、何と云っても医師をはじめとした人材の確保が最重要課題となります。全国的な医師不足の中で、当院の方針に沿った、優秀な病院勤務医を確保しなければなりません。医師の確保なくして、医療の提供はあり得ないからです。職員一丸となって、医師の招聘、確保に努めたいと考えています。

一方で、市民の皆さまからも、ご理解、ご協力をいただきたいことがあります。それは、日夜を厭わぬ医師の奮闘をご理解いただきたいことと、医師への温かい激励をお願いしたいことです。医師にとって一番の薬は、市民の皆さまの温かい励まし

に他ありません。具体的に何を、というものではありませんが、よろしくお願ひいたします。

次に、医療は医師一人だけで行うものではありません。看護師をはじめ多くの医療スタッフが協力して、医師の指示に従いチーム医療を展開するのです。そこで大切なことは、医療に対する方針とスタッフの能力が担保されているということです。換言すれば、スタッフが寄せ集めの集団では、いくら医師が優秀であってもよい医療は提供できません。したがって、なるべく早い段階で二つの病院に必要なスタッフを確保し、当院のスタッフとして、教育や訓練をしておく必要があります。そうしなければ、市民の皆さまに、安全、安心な医療を提供することができないからです。

医師は、医師不足の病院には集まりません。病院の方針が明確で、自分のめざしている医療が行える病院に集まると言われています。看護師やほかの医療スタッフも同じことです。自分の目標としている医療を行っている病院や医師のもとに集まってくるのです。

市立病院を運営するための当面の課題、最大の課題は、医師や医療スタッフの確保に他ありません。今年からは、当院の総力を結集してスタッフの確保に努めてまいります。皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

新年を迎え 考える事



看護部長
秋山 雅子

あけましておめでどうございませう。

昨年の病院は新年早々、「職員の意識の向上、医療の質の向上を目的の、第3者による評価、病院機能評価受審から始まりました。途中、悩み苦しみ気持ちが悪えそうになることも多々ありましたが、めでたく4月6日に認定書をいただくことができました。職員全員で目標達成でき努力が報われた、慌ただしくもうれしい一年でもありました。

新たな年が、皆さまにとって、そして病院にとっても良い1年になりますよう願っております。

さて、今年はどう考えますと、六日町・塩沢地区と大和地区の2つの市立病院の再編に向け、具体的に役割や機能・整備内容など考え、進めていく年となります。看護部としては、今まで以上に、看護職員の確保と質の向上に努めていかなければなりません。

現在、当院には2名の認定看護師がいます。認知症看護認定看護師の活動は4年を経過し、毎年秋に2名の認知症看護認定看護師の研修生を受け入れ指導をしたり、院内外で講演などの教育活動を行っています。また皮膚・排泄ケア認定看護師は、ストーマ外来を立ち上げ診療を行ったたり、訪問看護師とともに在宅へ出向き、褥瘡や皮膚のトラブルの相談や対応にあたっています。そのほかにも、糖尿病療養指導士などの資格を取得し、外来で指導している看護師も増えていきます。こういった看護師の活動が、全体の看護の質を高めています。

また、病院周囲の草取りや整備、患者さまのリハビリ送迎や話し相手、病棟の季節の行事の飾りつけ、院内の機材の掛物作成など、地域の方々の力で、ボランティアの方々のお力で、病院全体がきれいに、明るくなり、入院患者さまはもちろんのこと、働く職員にも元気をいただいております。そして病院全体の質の向上につながっていると感じています。これらの輪が広がり、病院全体が活性化し、市民の皆さまの安全、安心の医療提供が継続して行えるようにしていきたいと考えていますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。